

教科名(数学)

鵬DP評価表(教科用)		評価基準				
	鵬DPとその定義 点 数	S(応用) 5点	A(つながり) 4点	B(考え) 2点	C(入口) 1点	合計
DP	再認識力	既習の事柄を用いて問題を解くことができ、それを日常生活の諸問題に活用しようすることができる。	既習の事柄を用いて問題を解くことができる。	既習の事柄をどのように問題に用いればよいかわかる。	既習の事柄を思い出すことができる。	
定義	・考えたり、振り返ったりできたり、得た知識や技能を応用できる力					
DP	情報収集力	教科書やノートを用いて予習し、理解することで問題を解くことができる。	教科書やノートを用いて自分が分からないところを認識することができる。	解答を見て、必要に応じて教科書やノートを参考にすることができる。	質問することができる。	
定義	・調べるための手段や対象を適切に設定できる力					
DP	問題発見力	問題で求められている事項を正しく理解し、問題を解くことで別の問題との関連性や違いに気づき、複数の解法を見出すことができる。	問題で求められている事項を正しく理解し、問題を解くことができる。	問題で求められている事項を正しく理解し、解法の道筋を立てることができる。	問題で求められていることをある程度理解することができる。	
定義	・課題を的確にとらえたり、捉えた課題から新たな視点や発見ができる力					
DP	分析力	データの特徴を捉え、的確な図に表し、問題を解くことができる。	空間的な条件を把握し、正しく図に表すことができる。	平面的な条件を把握し、正しく図に表すことができる。	大小関係を把握し、数直線に表すことができる。	
定義	・論理的に思考できたり、データの特徴を的確にとらえることができる力					
DP	共感力	他の解答を見ることで、別の解法も理解し、問題に応じてよりよい解法を選択することができ、別の問題に生かすことができる。	他の解答を見ることで、自分の間違いを正すことができる。	他の解答を見ることで、自分の間違いに気付くことができる。	他の考えを聞くことができる。	
定義	・自分の意見を主張するだけでなく他者の意見や感情を理解することができ、さらにいろいろな意見を総合してよりよいものを想像することができる力					
DP	表現実行力	自分の考えを適切な表現方法で他者に伝えることができ、相手の様子(理解度)を見ながら分かりやすく説明することができる。	自分の考えを適切な方法で他者に伝えることができる。	自分の考えを伝えようとするすることができる。	問われたことに答えようとするすることができる。	
定義	・物事を他者に伝えられたり、実際に行動につなげる力					